

教科名	理科	科目	生物	単位	3単位
-----	----	----	----	----	-----

1. 教科書および副教材

- (1) 教科書 「生物(数研出版)」
- (2) 副教材 「リードα生物(数研出版)」「生物図録(数研出版)」

2. 授業の目標および内容

- (1) さまざまな事例を通して、自然界と生物、人間に対して関心を持ち、生命を探究しそれに対する理解を深めるとともに、生命の本質を理解するようにしたい。
- (2) 基本的内容を理解し、現学年から大学入試へ対応できる基礎学力の養成を目指す。
- (3) 授業の進め方としては、教科書の進度に合わせて進めていく。

3. 試験

	1学期		2学期		3学期
(1)定期試験	5月	7月	10月	12月	3月
(2)学力試験	なし		なし		2月

- (1) 定期試験：履修した内容の理解度を確認することが目的で、範囲を指定して出題する。教科書のほか、リードα生物、配布プリントなどをよく勉強しておくこと。
- (2) 学力試験：履修したすべての範囲から出題される。発展問題の割合が増える。

4. 課題、補習

必要に応じて実施する。

5. 評価の基準

定期試験の点数を基本とし、平常点も加味して算出する。

6. 授業計画

学期	単元	内容	備考
1	第1章 生物の進化	<ul style="list-style-type: none"> 1. 生命の起源と生物の進化 2. 遺伝子の変化と多様性 3. 遺伝子の組み合わせの変化 4. 進化のしくみ 5. 生物の系統と進化 6. 人類の系統と進化 	<ul style="list-style-type: none"> 【実】細胞の観察 【実】カタラーゼ
	第2章 細胞と分子	<ul style="list-style-type: none"> 1. 生体物質と細胞 2. タンパク質の構造と性質 3. 化学反応にかかわるタンパク質 4. 膜輸送や情報伝達にかかわるタンパク質 	

2	<p>第3章 代謝</p> <p>第4章 遺伝情報の発現と発生</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代謝とエネルギー 2. 呼吸と発酵 3. 光合成 1. DNAの構造と複製 2. 遺伝情報の発現 3. 遺伝子の発現調節 4. 発生と遺伝子発現 5. 遺伝子を扱う技術 	<p>【実】アルコール発酵</p> <p>【実】脱水素酵素</p> <p>【実】光合成色素の分離</p> <p>【実】DNAの抽出</p>
3	<p>第5章 動物の反応と行動</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 刺激の受容 2. ニューロンとその興奮 3. 情報の統合 4. 刺激への反応 5. 動物の行動 	<p>※実験は授業数や状況に応じて実施しない場合もある。</p>